

## 投稿規定

1. **趣旨**：高知大学大学院総合人間自然科学研究科黒潮圏総合科学専攻は世界最大の海流のひとつである黒潮の影響を受ける地域を主な対象として既存の狭い専門分野からではなく文理の幅広い領域の複数の専門分野から資源・環境・健康に関する課題を総合的に研究するために2004年に高知大学に設置されました。研究者がそれぞれの既存専門分野で研究発表をすることはもちろんですが、複数の専門分野が協力のもとに総合的研究をして新たな研究・教育分野を開拓する必要性を感じています。

ところが、このような新領域を対象とした雑誌が存在しないので、「黒潮圏科学」という文理融合型の新しい学問領域を確立するため新たな雑誌を創刊することにしました。学術論文として既存の専門学術誌の範囲を超えた研究論文、総説、研究ノート、ニュースなど「黒潮圏科学」としての取り組み方を広く皆さんに知ってもらうことが重要であると考えています。通常の守備範囲を超えた研究論文や編集委員の判断で重要であると考えられる黒潮圏に関する資料を広く皆さんに知ってもらうことをその責務と考えています。

2. **内容**：黒潮圏およびその比較対象地域の資源・環境・健康・文化および、それらを総合的にとらえた内容を含み、かつ次の1)～4)のいずれかに該当するものを掲載します。

- 1) 高い学術的意義がある研究論文 (Research paper)、予備的な研究成果発表である研究ノート (Research note)、既往の研究をまとめた総説 (Review)、研究成果ではなく調査研究対象の情報などを紹介した報告 (Report)。研究論文と研究ノートは2名以上の研究者が査読します。
- 2) 研究、教育、社会貢献に関わる随筆 (Essay)、論評 (Comment)、提言 (Proposal)。
- 3) シンポジウム・ワークショップ・講演会などの講演録、翻訳。
- 4) 学術資料、ニュース、その他編集委員会が掲載を認めた原稿。掲載可能かどうかは編集委員会にご相談ください。

投稿の際には原稿の種類を記入して投稿してください。編集委員会が投稿者に連絡の上、原稿の種類を変える場合もありますのでご了承ください。

3. **投稿**：原稿はemailに添付するか、CDまたはDVDにして編集委員会にお送りください。emailの場合の件名は「黒潮圏科学投稿」としてください。手書きまたは印刷原稿での投稿は編集委員会にご相談ください。

4. **原稿の採否**：原稿の採否、掲載順は編集委員会が決定します。採択された原稿は、内容、体裁について編集委員会が校閲します。

5. **校正と別刷**：初校の校正は著者が行い、二校目以降は編集委員会で行います。論文の著者は、PDFファイルを無料で受け取ることができます。

6. **著作権**：掲載された原稿の著作権は編集委員会に属します。

7. **著作権物の引用**：著作権のある図や表を引用する場合は雑誌、出版社などの著作権者の許諾が必要です。原稿が受理された際に許諾を証明する資料を添付してください。

8. **印刷費・投稿料**：印刷費、投稿料は無料です。

投稿規定に関する不明な点は編集委員会にお問い合わせください。

「黒潮圏科学」編集委員会  
黒潮圏総合科学専攻事務局気付  
〒783-8502 高知県南国市物部乙200  
TEL：088-864-5786  
FAX：088-864-5787  
E-Mail：km03@kochi-u.ac.jp

(この規定は12巻1号から適用します)

## 執筆要項

1. 言語は日本語か英語とする。
2. 本文はMS Wordで作成し、A4横書き、文字数と行数は標準を指定、ダブルスペース、上下左右の余白は3 cmにする。ページ番号と1ページ目からの連続行番号を付ける。
3. 本文1ページ目に、投稿規定に示した原稿の種類、表題、著者名、全員の所属機関名とその所在地、連絡責任者名のemailアドレス、柱題(Running title)を記述する。表題は副題を除いて和文30字、英文25語以内、柱題は和文原稿では全角20字以内、英文原稿は半角30字以内とする。著者名は略さず、責任著者名の右肩に\*を付ける。
4. 研究論文、研究ノート、総説では2ページ目に要旨を記述する。要旨は目的、結果、結論を簡潔にまとめたもので、和文全角800字以内、英文200語以内とする。要旨の後に5つ以内のキーワードをつける。本文は3ページ目から記述する。研究論文と研究ノートの本文は、原則として緒言、材料と方法、結果、考察、(謝辞、)引用文献の順に章を設け、各章の見出しを太字で行中央に置く。ただし、和文原稿の緒言は見出しを付けない。章内の小見出しは太字で左寄せにする。和文原稿では引用文献の後に英文タイトル、著者名(ローマ字)、英文要旨、英文キーワードを付ける。
5. 略語を含めて専門用語はその分野での一般的な用法に従う。数値と単位の間には、%と°Cの場合を除き、半角スペースを置く(例、1 cm)。生物の属名と種名はイタリックで記述する。
6. 図表はPDF、Power Point、画像(図のみ)、Excel(表のみ)のいずれかで作成するか、本文ファイルの最後に埋め込む。それ以外のファイル形式は編集委員会に相談する。
7. 図中の文字は、図を縮小して1段組(幅約80 mm)内に印刷されても読みやすい大きさを使う。表の説明は表の上側に記述する。和文原稿の場合、図表の説明は英文で記述するか、英文説明を付記することが望ましい。
8. 図と表は、本文中でそれぞれ最初に引用する順に図1、表1(Fig. 1、Table 1)のように番号をつける。
9. 引用したすべての文献は以下に例に倣って著者名のアルファベット順に引用文献欄に列挙する。同著者の文献の順番は学術雑誌の一般ルールに従う。
  - 1) 学術雑誌の論文  
Clarke K. R. 1993. Non-parametric multivariate analyses of changes in community structure. *Aust. J. Ecol.* 18: 117-143.  
目崎拓真・久保田賢. 2012. 高知県沿岸海域における造礁サンゴ群集の変遷. *海洋と生物* 34: 332-337.
  - 2) 単行本  
Anderson K. and Martin W. 2009. "Distortion to agricultural incentives in Asia", The World Bank, Washington DC.  
本間正義. 2010. 「現代日本農業の政策過程」, 慶応義塾大学出版会, 東京.
  - 3) 単行本の中の一部  
Huei M.S., Chiu L.I. and Men C.Y. 1993. Mass mortality of prawn caused by *Alexandrium tamarense* blooming in a culture pond in southern Taiwan. In: Smayda T. J. and Shimizu Y. (eds.) "Toxic Phytoplankton Blooms in the Sea", Elsevier, New York, pp. 329-333.  
小早川みどり. 2008. ナマズの世界. 前畑政善・宮本真二(編)「鯰-イメージとその素顔」, 八坂書房, 東京, pp. 142-160.
  - 4) インターネット  
FAO. 2005. National aquaculture sector overview- Cuba. [http://www.fao.org/fishery/countrysector/naso\\_cuba/en](http://www.fao.org/fishery/countrysector/naso_cuba/en) (Last access 7 March 2012).  
環境庁. 1990. サンゴ群集現地調査票. [http://www.biodic.go.jp/reports/4-other\\_questionnaire/coralreef/H2/39Kochi/036.html](http://www.biodic.go.jp/reports/4-other_questionnaire/coralreef/H2/39Kochi/036.html) (2013年1月22日閲覧).
10. その他、引用文献は次の指示に従って記述する。
  - 1) 英文原稿で和文の文献を引用する場合、英文要旨があれば(in Japanese with English abstract)を、なければ(in Japanese)を最後のピリオドの後に付記する。英文タイトルの表記がない和文文献はタイトルをローマ字表記し、著者による英訳を角括弧に入れて記述する。
  - 2) 学位論文は単行本に準ずるが、題名の後は学位

論文の種類、学位授与機関（大学名等）、国名を  
コンマで区切って記述する。

- 3) 出版が確定した未発表文献は、出版年が確定していればその年号にし、未確定の巻号は（印刷中）[英文では in press] として記述する。出版年が未定の場合は年号のかわりに（印刷中）と書く。
11. 著者による未発表の研究結果と他人から直接得た情報は、それぞれ（未発表）[英文では (unpublished data)]、（私信）[同、(personal communication)] を表記して引用する。私信の引用責任は著者が負う。
12. 掲載年が不明なインターネット情報は本文中に著者名、サイト名、URL、最終閲覧日を明記して引用する。
13. 本文中で複数の文献を括弧で引用する場合はコンマで区切り、引用文献欄と同じ順に並べる（例、Kaufman 1994, Powles et al. 1999, Sy and Tsurufuji 1982a, b）。
14. 転載許可を得た図表を引用する場合は、転載許諾済みであることを図表の説明に記述する。

（この要項は12巻1号から適用します。この要項の具体例を参考にする場合は、12巻1号以降の掲載論文を参照してください。既刊号は次のウェブページに掲載されています：[https://kochi.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_opensearch&index\\_id=576](https://kochi.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id=576)）